

登録コード	A4B05200	開講年度	2026			
授業科目	作物生産学				担当教員	松浦 朝奈
英文授業名	Crop Production Science					
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・1時限	対象学生
講義室	農学部 2 6 番講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 5 Aカリ					
	【2025年度以降カリキュラム対象】2.【専門性】 農学分野の専門的な学識と技術が身についている。				農学分野の専門的な学識と技術が身についている。	
	【2025年度以降カリキュラム対象】3.【情報分析・発信力】 論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。				論理的な思考力のもと、多様な情報を収集・分析・活用できるとともに、効果的に伝えることができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生、健康長寿					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	作物栽培の歴史と現在の課題を踏まえ、人類と地球環境の共存を目指した食料生産について講述します。アジアおよび日本で最も重要な食用作物であるイネをはじめとして、多様な食用作物の特徴、生理生態、生産状況、栽培管理技術などを概説します。					
(5)授業計画	第1回：食料生産の現状と課題 第2回：イネ（総論） 第3回：イネ（各論） 第4回：イモ類 第5回：ムギ類（総論） 第6回：トウモロコシ 第7回：ダイズ（総論） 第8回：ダイズ（各論） 第9回：有機栽培の現状と課題 第10回：昆虫学の基礎 第11回：応用昆虫学（天敵の活用） 第12回：環境ストレス耐性のしくみ 第13回：雑穀類 第14回：疑穀類・古代穀物 第15回：どうする？どうなる？食料生産 なお、第15回では、授業アンケートに回答するための時間を含みます。					
(6)自主学習の指針	1. 予習・復習を行って、不明な点は徹底的に調べてください。 2. 質問はレポートに記入し、自分でも調べてください。					
(7)成績評価の基準	毎回のレポートの合計点を100点満点に換算し、90点以上を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可、60点未満の場合は不可とします。					
(8)事前事後学習の内容	事前学習：各回の内容について調べてください。 事後学習：授業の内容について重要なポイントを整理して不明な点を調べてください。					
(9)テストやレポートの予定	毎回の授業後にレポートや小テストを課します。					
(10)成績評価の方法	毎回のレポートや小テストの合計点を100点満点に換算し、90点以上を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可、60点未満の場合は不可とします。					
(11)質問、相談への対応および連絡先	メールで連絡してください。 松浦 asana@shinshu-u.ac.jp					
(12)履修上の注意	本講義の連絡はeALPSで行います。出席停止などの場合には成績評価に不利にならないよう配慮しますので、メールで連絡してください。					
【教科書】	使用しません。 講義内容に関わる資料はプリントで配布します。					
【参考書】	作物学概論 朝倉書店（雑穀類・疑穀類を松浦が担当）2018 植物生産生理学 朝倉書店 1994 作物学の基礎Ⅰ 農文協 2013 作物学の基礎Ⅱ 農文協 2015 作物生産生理学の基礎 農文協 2016 土壌学の基礎 農文協 2018 応用昆虫学の基礎 農文協 2019					